

奈良体育学会会報

第90号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良女子大学 生活環境学部 石坂友司研究室（〒630-8506 奈良市北魚屋西町）
<https://nspehss.org/> narajimukyoku@nspehss.org

学会大会案内号

奈良体育学会 会員の皆様へ

会長就任のご挨拶

奈良体育学会会長 松井 良明（奈良工業高等専門学校）

朝夕の涼しさに秋の訪れを感じる今日この頃、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度4月に開催された新旧合同理事会において、中谷敏昭前会長の任を引き継ぐこととなりました松井良明でございます。会長就任にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

平素は奈良体育学会の活動にご理解並びにご協力を賜り、まことにありがとうございます。先の役員改選を経て、令和4年4月より理事会が新体制となり、幹事校も奈良女子大学に移りました。思えば、国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたのが令和2年1月のことでしたので、令和2～3年度の役員の方々におかれましては、たいへん厳しい状況の中で学会運営を担っていただくこととなり、多大なご苦勞をおかけいたしました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

さて、先日開催された日本体育・スポーツ・健康学会大会時の地域協力学会連絡会議では、各地域学会でも若手研究者の入会を促す努力が必要との認識が示されたということです。ご承知のように、本学会では平成30年度より、若手研究者の育成を目途とした学生研究奨励賞を設けています。また、今年度の学会大会は奈良女子大学のキャンパスをお借りし、対面による実施を計画しておりますので、会員の皆様におかれましては、奮ってご発表をお願いしたいと存じます。

ウィズ・コロナの状況は今しばらく続きそうですが、奈良体育学会には「間口が広い」という強みがあると考えています。このような特徴を生かし、奈良地域の体育・スポーツ・健康に関わる教育・研究・普及活動を「原資」として持ち寄ることで、学会活動の活性化と若手研究者の入会につなげていきたいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いたします。

令和4年度奈良体育学会大会に関するお知らせ

令和4年度奈良体育学会大会につきましては、今のところ現地（対面形式）での開催を予定しております。一方で、依然、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中でもあることから、状況が変化した場合にはオンライン開催に切り替える可能性のあることもご承知おきください。開催方法変更のお知らせは、会報及び奈良体育学会HPで行います。

<開催要領>

期 日：令和4年11月19日（土）

会 場：奈良女子大学 G棟 201 教室（奈良県奈良市北魚屋西町）

時 程：12:00～ 受付 / 12:30～ 総会、一般発表、シンポジウム

※演題数等により時間変更や会場追加の可能性があります。午前中から行う場合もあります。

※今年度は、懇親会は行いません。

<一般発表>

一般発表はすべてパワーポイント（スライド）による口頭発表とします。なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、遠隔会議システム（Zoomを予定）によるオンライン・リアルタイムでの口頭発表に変更する可能性があります。その場合、発表内容を収録し、参加申込者限定で一定期間オンデマンド配信する予定です。

<特別講演>

井上 洋一（奈良女子大学）

テーマ：「スポーツ法学の発展とともに」

<シンポジウム>

テーマ：「奈良のスポーツ遺産について考える」

趣 旨：京都より長い歴史を持つ「奈良のスポーツ遺産」とはどのようなものなのか。本学会は日本体育・スポーツ・健康学会の地域協力学会でもあり、多くの会員が「奈良」にゆかりのある研究者や教育者である。長い歴史を持つ奈良に関わりのあるスポーツ遺産や「地元奈良」に存在するスポーツ遺産に着目し、その広がりや学術的な意義を探ること、またその内容を学術情報として広く共有することは、学会員だけでなく、本シンポジウムの共催である奈良女子大学「地域連携事業・健康なら21Step アップ事業」の参加者にとっても、今後の研究・教育・普及活動の促進につながるのではないかと考える。

シンポジウムでは、人類学や考古学の観点から貴重な「スポーツ遺産」を所蔵されている天理大学附属天理参考館、「古代万葉学」の研究拠点としても知られる奈良県立万葉文化館、そして県内で唯一の「スポーツ博物館」ともいえる葛城市立相撲館けはや座の関係者を招いて議論を行いたい。

3つの機関と「奈良の『スポーツ遺産』」との関連は概ね以下のとおりである。

- ・天理大学附属天理参考館：世界の生活文化と考古美術の博物館である。2020年に創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」を開催し、そこでは同館に収蔵されているスポーツ関連資料の展示が行われ、図録も出版されている。
- ・奈良県立万葉文化館：万葉のふるさと・奈良にふさわしい「万葉集」を中心とした古代文化に関する総合文化施設として2001年に設立され、昨年、20周年を迎えた。展示室のほか、万葉図書・情報室では約15,000冊を所蔵している。周知のように、万葉集には古代万葉時代の文化や生活を背景とした歌があり、娯楽やスポーツに関する情報が得られる。
- ・葛城市相撲館「けはや座」：葛城市は相撲の開祖「當麻蹶速」伝説が古くから語り継がれている。相撲の普及活動と伝承を継承する目的で1990年に設立された。2年前に30周年を迎え、『葛城市相撲館けはや座』と題する図録を刊行した。収蔵する書籍、雑誌、番付表等は8,000点に及ぶ。また、館内には土俵があり、相撲甚句の公開練習等にも利用されている。

シンポジスト：

早坂 文吉（天理大学附属天理参考館海外民族室・学芸員）
井上 さやか（万葉文化館企画・研究係長）
小池 弘悌（葛城市役所産業観光部商工観光プロモーション課（葛城市相撲館）課長補佐）

コーディネーター：

松井 良明（奈良工業高等専門学校）

以上敬称略

<参加申込・発表申込>

「一般発表」申込期限：令和4年10月28日（金）17:00

「事前参加」申込期限：令和4年11月11日（月）17:00 **※当日参加も受け付けます。**

※万が一、オンライン開催に変更となった場合には、事前参加申し込みが必須となります。

「一般発表」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。一般発表の申込をされた方は、必ず併せて事前参加申込も行ってください。

「事前参加」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。万が一、オンライン開催となった場合、参加費の振込が確認できた方には、開催日までに電子メールにて参加方法についてのご案内をお送りします。総会議事についても、参加申込者によるオンライン投票での議決とします。

学会大会申込み（参加・発表）ページ：<https://nspehss.org/taikai/taikaiform>

令和4年度奈良体育学会大会専用メールアドレス（大会事務局）：2022taikai@nspehss.org

参加費：一般会員・名誉会員1,000円、学生（大学院生）会員500円、学部生無料です。事前参加申込をされた方は、申込と同時に下記口座にお振込みください。**※当日参加も受け付けますが、出来るだけ事前に参加申込をしてください。**

郵便振替・口座番号：01000-2-28169 加入者名：奈良体育学会

<発表申込様式など>

*研究発表をされる方（筆頭演者）は奈良体育学会会員（一般・学生）に限ります。共同発表者には会員資格は必要ありません。筆頭演者にあたられる方は、必ず参加費をお支払ください。共同演者の方の参加費の支払いは必要ありません。

*奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。

*発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします（必須）。また、可能な限り発表内容の「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

<学生・若手研究奨励賞>

学会大会では、平成30年度より学生および若手研究者の研究を奨励することを目的として、学生・若手研究奨励賞を設けています。学会大会において行われた一般研究発表を審査対象とし、対象者は、大学院、学部所属する学生・研究生の正会員、または年齢が30歳以下の正会員で、当該発表のファー

スト・オーサーとなっています。学部生、大学院生、その他条件に該当する若手研究者の皆様の積極的な発表申込をお願いします。

＜プログラム詳細・大会要項など＞

詳細なプログラムの内容や学会大会要項等につきましては、学会 HP 及び次回会報でご案内致します。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。

なお、研究年報は学会 HP にアップロードしますので、会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。冊子での配布は行っていません。また、学会活動(会報)、会則、内規等につきましては、学会 HP にて閲覧してください。

締 切：令和 5 年 1 月 27 日(金) 17:00

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 奈良女子大学 石坂友司宛 (E-mail: narajimukyoku@nspehss.org)

＜誌上発表論文書式＞

*A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで 4~6 枚、上下左右の余白を 20mm としてください。
(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

*原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した 2 種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能ですが、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

＜発表抄録書式(今年度の大会発表者用)＞

用紙 A4 で 1 枚(図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9 ポイント)を所属と本文の間に 3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は＜誌上発表論文書式＞と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット： <https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

理事会報告

I. 令和4年度奈良体育学会第1回(新旧合同)理事会議事録

日時：令和4(2022)年4月18日(月)18:30~20:00

会場：奈良女子大学A棟1階・生活環境学部会議室

出席：石坂友司、高橋豪仁、立正伸、寺田和史、中田大貴、中谷敏昭、星野聡子、松井良明(五十音順、敬称略)

欠席：井上邦子、笠次良爾、白石晃(五十音順、敬称略)

○報告事項

1. 令和4・5年度役員選挙結果について

Web投票とした。投票19人(理事選挙：有効投票総数102票 / 会計監査選挙：有効投票総数31票)

<理事候補7名>(得票数・五十音順、敬称略)

石坂友司9票、寺田和史9票、星野聡子9票、高橋豪仁8票、立正伸8票、中田大貴8票、松井良明7票、次点：井上洋一7票

<会計監査候補2名>(得票数・五十音順、敬称略)

成瀬九美4票、藤原素子3票、次点：大高千明3票、芝崎学3票

注) 理事選挙において松井良明氏と井上洋一氏は同点位であったが、会計監査2名の立ち合いのもと、奈良体育学会選挙細則第4条に基づく選挙管理委員会(本学会会長・理事長)による厳正なる抽選(くじ引き)の結果、松井良明氏が当選となった。また、会計監査選挙において藤原素子氏、大高千明氏、芝崎学氏は同点位であったが、理事選挙と同様の方法による厳正なる抽選にて藤原素子氏が当選となった。

2. 会員の動向

2022年4月18日現在、正会員107名(内、奈良体育学会のみ13名)、名誉会員7名で、正会員は若干の減少傾向にある。

(1) 入会者(2021年度)

- ・日本体育・スポーツ・健康学会会員であって奈良地域に新規登録または転入した者 1名
 - ・日本体育・スポーツ・健康学会非会員であって奈良体育学会へ新規入会した者 5名
- 入会者については下記審議事項1に記載のとおり。

(2) 退会者(2021年4月1日から2022年4月18日まで)

- ・事務局または日本体育・スポーツ・健康学会を通じて連絡のあった者や動向が判明した者8名：小林篤、横田早香、重松咲、的場弘起、豊島誠也、堀井美奈、関智美、北島順子
- ・2020年度末で退会していたことが判明した者1名：粟飯原真央

(3) 動向不明者1名：田中千尋(奈良体育学会と日本体育・スポーツ・健康学会で連絡先不明)

○審議事項

1. 新入会員の承認

日本体育・スポーツ・健康学会(奈良地域会員)1名、奈良体育学会会員5名の入会手続きがあった。

(1) 日本体育・スポーツ・健康学会(奈良地域会員)への入会 1名

永良芽依(天理大学大学院)

(2) 奈良体育学会への入会 5名

江川慶衣子、山本樹、福井裕士、金子竜大、周藤和樹(以上、天理大学大学院)

以上(1)(2)について、全会一致で承認された。

2. 令和3年度活動報告

(1) 奈良体育学会会報発行

第88号：学会大会案内号

第89号：学会大会プログラム号

(2) 令和3年度奈良体育学会総会・学会大会

期日：令和3年12月19日(日)

場所：天理大学体育学部6号棟4階・64C教室

参加者：47名(正会員・名誉会員32名、会員外15名)

(3) 奈良体育学会研究年報第26号発行(2022.03)

(4) 令和4・5年度役員選挙

以上(1)～(4)について、全会一致で承認された。

3. 令和3年度決算(案) 別紙

令和3年度決算案について、全会一致で承認された。

4. 令和4・5年度新役員の選出及び事務局体制について(案)(敬称略)

幹事校：奈良女子大学

会長：松井良明(奈良工業高等専門学校)

副会長：高橋豪仁(奈良教育大学)

理事長：石坂友司(奈良女子大学)

理事：立正伸(奈良教育大学)、寺田和史(天理大学)、中田大貴(奈良女子大学)、星野聡子(奈良女子大学)

会計監査：成瀬九美(奈良女子大学)、藤原素子(奈良女子大学)

<事務局> 庶務幹事：高德希(奈良女子大学)、浅野友之(奈良女子大学)

会計幹事：石坂友司(奈良女子大学)

令和4・5年度新役員の選出及び事務局体制について、上記のとおり承認された。

5. 令和4年度予算案

[一般会計]

<収入>

前年度繰越金	¥338,189	
会費	¥150,000	R3年度会費納入金額相当
補助金	¥70,000	本部に申請中(助成見込み額、申請は8万円)
大会参加費	¥24,000	R2年度学会大会参加費金額(一般1000円、学生500円)相当
雑収入	¥0	
利子	¥0	
合計	¥582,189	

<支出>

会議費	¥20,000	
事務費	¥40,000	HP管理運営費含む
通信費	¥30,000	
学会大会・例会費	¥80,000	
研究年報作成費	¥40,000	PDF編集ソフト等購入費含む
アルバイト料	¥20,000	
講演謝礼	¥50,000	
予備費	¥302,189	
合計	¥582,189	

令和4年度予算案について、審議の結果、全会一致で承認された。

6. 令和4年度の学会大会・総会について

日時と場所については、令和4年11月19日(土)を第1候補日とし、奈良女子大学で対面形式にて開催することとなった。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、場所と開催形式については変更を含めて臨機応変に対応することとした。内容としては、一般演題の他に停年退職される先生に依頼する特別公演、合わせて奈良女子大学工学部の開設を記念して工学系を中心としたシンポジウムを実施することなどが提案されたが、それらの提案をもとに素案を事務局で立案し、理事会で継続して審議することとなった。

7. 次回理事会開催日

令和4年7月25日(月)18:30より、奈良女子大学で開催することとなった。

8. その他

特になし。

以上

(別紙) 令和3年度決算

2021 (令和3) 年度奈良体育学会一般会計報告書

R4.3.31

<収入>

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	163,500	150,000	13,500	100名分
補助金	70,000	100,000	△ 30,000	JSPEHSSより7万円、天理大学より3万円
学会大会参加費	25,500	24,000	1,500	一般20名(1000円)、大学院生8名(500円)
雑収入	0	170,256	△ 170,256	立替金による振込(18,337円)+担保定額預金満期受取(150,000円)+担保定額預金満期受取利息(1,919円)
利子	0	1	△ 1	通常貯金利息(1円)
当期収入合計	259,000	444,257	△ 185,257	
前年度繰越金	228,115	228,115	0	
合計	487,115	672,372	△ 185,257	

<支出>

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	20,000	4,932	15,068	
事務費	50,000	29,272	20,728	
通信費	80,000	23,596	56,404	
学会大会・例会費	80,000	73,962	6,038	
研究年報作成費	70,000	12,421	57,579	
アルバイト料	20,000	10,000	10,000	
講演謝礼	50,000	30,000	20,000	
予備費	117,115	150,000	△ 32,885	担保定額預金(証券番号7)
当期支出合計	487,115	334,183	152,932	
次年度繰越金	0	338,189	△ 338,189	
合計	487,115	672,372	△ 185,257	

令和3年度奈良体育学会基金報告書

R4.3.31

(単位:円)

前年度繰越金	収入		支出	現在高	備考
	積立金	利息			
300,000	150,000	1,919	150,000	300,000	R4/3/31現在高

付記: H23/5/24預入分満期(支出150,000円:証券番号5)。支出(150,000円)と利息(1,919円)は一般会計<収入>の雑収入に該当。R3/6/10新規に担保定額預金預入(積立金150,000円:証券番号7)、一般会計<支出>の予備

2022年4月 / 日

会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

北澤 太野 

2022年4月 / 日

会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

山下 大輔 

II. 令和4年度奈良体育学会第2回理事会議事録

日時：令和4（2022）年7月25日（月）18:30～19:30

会場：zoom オンライン開催

出席者：石坂友司、高橋豪仁、立正伸、寺田和史、中田大貴、星野聡子、松井良明（五十音順、敬称略）

○報告事項

1. 令和4・5年度の事務局体制について

奈良女子大学に置かれる事務局について、庶務幹事、会計幹事が以下のように決定したことが報告された。

庶務幹事：高德希（奈良女子大学）、浅野友之（奈良女子大学）

会計幹事：石坂友司（奈良女子大学）※兼任（敬称略）

2. 令和4年度地域協力学会助成金・会費について

令和4年度地域協力学会助成金額が65,000円（令和3年度70,000円）に減額されたことが報告された。また、令和4年度会費として、本部より72名分の振込がなされたことが報告された。

3. 地域協力学会連絡会議（9/1）への出席について

日本体育・スポーツ・健康学会大会時に開催される地域協力学会連絡会議について、中谷敏昭代議員（天理大学）が出席することが報告された。

4. その他

特になし。

○審議事項

1. 奈良体育学会大会のシンポジウムについて

学会大会は2022年11月19日（土）奈良女子大学での開催を予定していることが確認された。種々意見交換の後、井上洋一元会長（奈良女子大学）に特別講演を依頼すること、松井良明会長をコーディネーターとして、「奈良のスポーツ遺産について考える」（仮題）というテーマで、奈良におけるスポーツ遺産について議論を深めることが決定された。大会中に実演を含むイベントの開催も提案され、8月末を目処に第一案を作成し、理事間で意見交換を行うことが確認された。

2. 振替口座の運用について

振替口座と総合口座で運用している学会会計について、利便性を高めるために振替口座のトークンを用いた振込機能を利用する案が会計幹事より提案された。他学会での運用実績や運用方法、引き継ぎ方法などが説明され、種々意見交換の後、総合口座は維持した上で、振替口座の機能を拡張する案が承認された。

3. その他

特になし。

4. 次回理事会開催日

学会大会が開催される令和4年11月19日（土）に、奈良女子大学で開催することが確認された。

以上

会員の皆様へのお知らせ【重要】

※本年度以降の会報の発行について

学会 HP の運用が始まったことや、学会運営経費の削減のため、今後の会報の配布や学会事務局からの随時のお知らせは、順次、電子メールによる配信に移行させていただくことを考えています。その場合、日本体育・スポーツ・健康学会に所属されている方につきましては、そちらに届け出されているメールアドレスに送信いたします。

現時点でこちらがメールアドレスを把握している方につきましては、郵送と同時に電子メールによる会報の配布も行っています。電子メールにより会報が届いていない方や、奈良体育学会のみの会員の方でまだメールアドレスをお届けいただけていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局(narajimukyoku@nspehss.org)まで、メールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

※研究年報の発行について

研究年報冊子の印刷配布につきましては、長年、学会運営における必要経費の大きな部分を占めており、また近年の継続的な学会運営経費の逼迫をもたらす原因となっていたこと、および学会 HP が開設されましたことから、電子データでの提供とし、配布を行わないこととさせていただきます。会員の皆さまのご理解とご協力をいただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

閲覧のためのパスワードは「**arnara**」となっております。

※ 日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和4年度の年度会費1,500円をお納め下さい。2年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
加入者名 奈良体育学会